



花宴

筆：明城 安子様（ききょう入居者）

発行責任者

社会福祉法人積慶園

特別養護老人ホーム山科積慶園

施設長 石黒 善治

京都市山科区北花山大林町34番地

電話(075)583-6277 FAX(075)594-2101

第38号 発行日：令和4年 4月 1日

チーム全体で 協力する



特別養護老人ホーム山科積慶園
フロアリーダー 上木 康平

まだまだ寒暖差が激しい時期ではありますが、みなさんいかがお過ごしでしょうか。3階フロアリーダーの上木です。月日は早いもので積慶園に開設当初に就職して、14年目になります。また3Fフロアリーダーを務めて、はや4年目に入りました。その間様々な問題やリーダーとしての業務、入居者様の対応等経験していく中で、得たもの、また失敗から学んだこともたくさんありました。「経験に勝るものはない」と言う言葉もありますが、自分にとっては、良い経験させていただいていると思います。

自分が仕事をする上で最も意識している事は、様々な問題があっても、1人で問題を解決するのではなく、他部署の職員も含め、チーム全体で協力して仕事していくという事です。1人で解決できないことはチームで考え、それでもできない時は他部署と一緒に考え、協力して問題を解決していきます。解決できた時は、この仕事の本質というか、感慨深いものがあります。

職員と入居者様との信頼関係をしっかりと構築し、人と人の繋がりを大切にしていきたいと改めて思います。今後も他部署としっかり連携して、入居者様にとってより良い生活を送れる様、努力していきたいと思ひます。

一人一人に寄り添った サービスを・・・



特別養護老人ホーム山科積慶園
ユニットリーダー 岸本 高憲

令和4年の1月から3階「はぎ」のユニットリーダーになった岸本です。この施設でフロア異動、ユニット異動を重ね8年目になります。前々からリーダーの話をしていただいていたが、リーダーとして何をすればいいのかわからず、職員育成や、職員指導を自分ができるわけがない、と遠回しに断っていました。しかし、昨年6月にサブリーダーを拝命し、年末に外部のリーダー研修を受講したことで、リーダーとしての在り方や職員の指導方法、心構えといった自分が持っていなかった考え方やスキル等を学ぶ事ができました。徐々に自分の中のリーダー像といったものが構築されていったように思っています。

リーダーに就かせてもらった現在、すべてが上手くいっている訳ではないですが、周りの職員に支えてもらいながら、少しずつ良いユニットになっている気がします。

これからも現状に満足せず、入居者様一人一人に寄り添ったサービスを提供し、また職員同士が気軽に意見を言い合えるような、働きやすいユニットにしたいと思ひています。まだまだ未熟ですが、これからも宜しくお願いします。

《開設記念行事》

今回で13周年となり、コロナ禍から約2年となる開設記念行事となりました。昨年に引き続き、残念ながらマグロの解体ショーは中止にしましたが、ご入居者様、ご利用者様に食べ物で楽しんで頂くため、お寿司の盛り合わせを提供させて頂きました。やはり皆様にはお寿司が大人気！お寿司となると、食が進む方もおられます。中には、お酒と一緒にお寿司を楽しんでいる方もおられ、ほろ酔いで上機嫌に。コロナ禍で気分が落ち込まれるご入居者様も美味しい物を食べて楽しいひと時を過ごされました。(濱野)



《クリスマス会》

今回はクリスマスケーキ作りとクリスマスプレゼントをお渡ししました。

クリスマスケーキは例年であれば入居者様に飾り付けをしていただくのですが、感染対策もあり、職員が作りました。入居者様は「飾りのサンタクロースが可愛くて食べられへんわあ」「美味しいなあ」と喜んで召し上がっておられました。

クリスマスプレゼントをお渡しすると「こんな貰ったの初めてやわ」「わたしこんなの貰ったで」と、楽しそうに他の入居者様と見せ合っておられる方もいました。おいしいケーキを食べ、プレゼントをもらい、皆様大満足のクリスマス会となりました。(杉村)



《もちつき大会》

毎年恒例のもちつき大会を行いました。感染対策と防寒対策をしっかり行い、職員がもちをつく様子をご覧になられました。

職員がもちをつく度に入居者様からは大きな歓声があがり、とても楽しそうに過ごされていました。その後は入居者様にも参加していただき、鏡餅用に餅を丸めていただきました。みなさん手馴れた様子で上手に作っておられ「お餅を食べられないのは残念やね」と言われたので、



これは鏡餅用のおもちですよと伝えると、「そうですか。食べないように気をつけなあかんね。」と笑顔で話されていました。



(藪田)



《ふじ3月のお誕生会》

お二人が本年で共に 101 歳を迎えられました！お祝いに職員がミニチョコパフェを手作りし、同じユニットの入居者様にも提供させていただきました。美味しそうに召し上がる皆様を見て、職員たちも楽しい時間を過ごさせていただきました。これからも元気に笑顔でお過ごしいただけるよう職員一同頑張ります！（隅田）



《節分》

2月4日、5階の各ユニットで節分の豆まきをしました。職員が鬼の格好をして入居者様の元へ行き、入居者様には職員が手作りしたボールをお渡しし、鬼に向かって投げてもらいました。入居者様は鬼が来ると「鬼やー。これ投げたろう。」と笑顔で投げていました。「楽しかったわ。ありがとう。」と大満足のご様子で、職員も嬉しく思いました。



（大道）



《12月～1月のイベント食》

12月は周年記念日、クリスマス、もちつき大会、お正月は1日～3日にかけておせち料理、鏡開きには、もちムースが入ったぜんざいを提供しました。また、2月には、蟹ちらし寿司を提供しました。コロナ禍だからこそ旬を大切に、季節の食材を食べて出来る限り気分を明るく楽しく過ごしていただけるように工夫しています。3月には2名の方が101歳を迎えられ、お誕生日プレートを作成しました。いくつになってもお誕生日は特別な日として、みんなでお祝いをして差し上げたいと思います。



クリスマス



1月1日～3日 おせち料理



～～ 医務室だより ～～

新型コロナウイルスが流行し、はや2年が過ぎました。当園でも、感染対策を行ってきましたが、残念ながら、本年1月に職員から陽性者が判明しました。発覚からすぐに、ユニットを完全閉鎖とし、PCRや職員に対して定期的な抗原検査を実施、館内での移動も分け、ガウンテクニックを行うなど更なる感染対策を行いました。合計9名の陽性者が出ましたが、他ユニットへの感染はなく、1月末日より通常の業務を行うことが出来ました。

すべてのご利用者様、ご家族の皆様には、ご心配をおかけしましたが、引き続き、ご入居者様の安全で安心な生活空間づくりのため、感染対策の基本を徹底し、予防や拡大防止に努めていきます。（小島）



衛生材料と職員用検査会場

デイサービスセンター

ぬくもり

4ヶ月の行事



《クリスマスツリー製作》

今回のクリスマス製作はフェルト生地を丸く切って円錐形をした物を二段に重ね、後は自由に飾りをつけてもらいました。利用者様は正面ばかりに気をとられ、周り全体に飾り付けを忘れる方もいらっしゃいましたが、職員が声掛けをし、写真の様なかわいいツリーが出来上がりました。



《クリスマス会》

例年、職員がハンドベルを使って、きよしこの夜の演奏をしていましたが、今年は利用者様に演奏をして頂きました。ハンドベルにも楽譜にも



同じ色のシールを貼って分かり易くし、持ち方、鳴らし方をお伝えし、一小節ずつ練習を重ね、演奏することが出来ました。

《忘年会》

感染対策により、カラオケができない等の制限がある中で出し物を工夫して行いました。その中でも職員対抗の「たたいてかぶってじゃんけんポン」は毎年行っています。ジャンケンして負けた方は洗面器で頭を叩かれないように防御し、勝ったほうはおもちゃのハンマーで相手の頭を叩いて勝負を競うゲームです。職員の普段見ない必死な様子に皆さん大笑いでおおいに盛り上がりました。



《節分壁面製作》



節分は毎年洋服や着物で鬼やお多福の形を作っています。今年、お多福さんはミニスカートで鬼さんに豆をぶつけている姿にしてみました。豆を沢山利用者様に作って頂きました。利用者様からは「えらいハイカラなお多福やな」と笑ってみておられました。



《お雛様製作・壁面製作》



ひし形の枠に折り紙の着物のお雛様を貼り付けていくのですが、途中で「顔は描くのこわいから描いて」とほぼ全員がおっしゃるので、職員が目、鼻、口を筆入れしました。

絵心のある職員がいないので、お雛様は昨年ラミネートして作ったお雛様を使用しましたが、菜の花は花びらを一枚一枚利用者様に作って頂きました。おはな紙を小さく切ったものを軽く捻って花びらのように形作って作りますが、パーツが沢山必要なので内職の様に日々捻って下さいました。4月になれば菜の花の上に桜をいっぱい咲かせます。



*****編集後記*****

年明け早々に利用者様、職員間でコロナ感染が相次ぎ、デイサービスも2週間の休業と、本当につらい日々が続きました。その後は陽性者が出ることは無く、落ち着いた状態です。蔓延防止等重点措置が全面的に解除されましたが、油断は出来ず常に気を引き締めて、普段の生活にも注意を払っています。桜の開花も聞かれ春の良い気候に、外へ誘われる時期になってきました。感染症の心配が無く、マスクの無い普段の日常が遠い日になってしまっていますが、一日も早く平常な毎日が戻って来てみんなの笑顔を見ながら話が出来ますように。そして世界平和を心より願います。(杉山)